

大津のことがもっと好きになる情報誌

広報

# おおづ

# 10

October.2022

Public relations  
OZU TOWN



①大津町や菊陽町に100周年の旗を設置し、町中にPRしています②大津高校のセミナーハウスを使い、10月28日(金)に開催する祝賀会に向けた準備を進めています。

# Clozu-up Ozu-jin

クローズアップ 大津人

大津高校鷹揚同窓会の公式ホームページはこちら▶



スマホやキャッシュレス、LINEにインスター。聞きなれない言葉があふれる現在。デジタルは私たちの暮らしに、どのように影響し、何をもたらしてくれるのでしょうか。今回は、大津町のデジタル化を考えます。

大津町のデジタル化を考える  
特集 **大津のDX** スタート編  
ディーエックス

広報 おおづ 2022 10

発行・編集 大津町 総合政策課  
〒869-1292 熊本県菊陽郡大津町大字大津 1233 番地  
TEL.096(293) 3118 <http://www.town.ozu.kumamoto.jp/>

印刷 印刷 印刷株式会社  
〒869-1292 熊本県菊陽郡大津町大字大津 1233 番地

UD FONT  
異やまぐ 読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。



## 同窓会は「出会い直し」

原田 スア子さん(大津)

大津高等学校は今年で創立100周年。「大津高校鷹揚同窓会」で10年以上副会長を務める原田スア子さんの100周年を迎える母校への思いにクローズアップする。

「今の在校生や卒業生も含めて、大津高校で良かったと思えるような学校が残り続けてほしい」と語る原田さんは、自分たちの思いや行動を次の世代につなげるために同窓会の実行委員を続けている。実行委員会では、100周年記念の同窓会に向けて、各地にのぼり旗の設置やSNSで情報発信などを行っている。

原田さんは、高校時代の性格を活発であったと語る。3年生の時はクラスの委員長となり、先生と共に大津高校の夏服の制作に携わった。「同窓会は「出会い直し」。同窓会では、高校の時あまり話していない同窓生との出会い直しがある」と原田さんは話す。一度も同じクラスにならなかった同窓生とも、同窓会による出会い直しにより今では大親友だと笑顔を咲かせる。

「高校3年間は短いようで、すごく大切で深い3年間。子どもたちが楽しんで無事に3年間を過ごしてほしい」と子どもたちや母校に対する思いを熱く語る原田さん。同窓会の役員をやっていると「卒業生や在校生の頑張りが見えたり、自分の手を取るようになって、自分の励みになっていく」と笑顔で語る。学生時代の思い出の時間を振り返る大切な同窓会。ぜひ皆さんも、仲の良かった友だちやあまり話すことができなかった同窓生、お世話になった先生と思い出話を咲かせてみてはどうだろうか。

## こゝろの声

4日間、地域づくり推進係にインターンシップ生が来ました。主に広報おおづの「クローズアップ大津人」の取材や記事作成を手伝ってもらいました。今回は特別につづじの声に登場しています。

▼4日間では、インタビューの仕方や「声の広報おおづ」の音声編集など「広報おおづ」作成の裏側を知ることができました。「クローズアップ大津人」の記事の作成を担当し、初めて記事を書きました。インタービューでたくさん素晴らしいお話を聞かせていただいたのですが、全て紙面にまとめるのは難しかったです。インタビューにご協力いただいた原田さん、ありがとうございました。これからも、住民の生活を陰ながら支える公務員になるために勉強を頑張りたいです。

(緒方えり・吹田)

